



エコマラソン2011長野 実施状況報告書



エコマラソン長野実行委員会

1. 本事業の趣旨

燃費の極限を追求するエコカー。長野市内および県内には、中学校から社会人までの幅広い年齢層のいくつもの団体が全国大会に出場しています。なかでも、中学生が材料調達からエンジン組み立て、車体の溶接、大会出場までを自分たちの技術を向上させながら取り組む姿は、新聞・テレビなどでも大きく取り上げられてきました。

この大会の趣旨は、エコカーの活動をきっかけに、「環境」と「技術」の両分野に係わる技術者の育成を、地域が支えながら実践していこうというものです。また、多くの人に見学していただき、エコカーの活動を知っていただくことも目的となっています。

今回で第5回目となるエコマラソンは、これまでと同様に、全国大会の燃費競技に準拠した燃費計測会を行うとともに、見学者も参加できるコーナーとして、自作エコカーの世界を体験する「2人乗りエコカー体験」、「ソーラーカー・ソーラーカート体験」、「電気自動車アイミーブ、リーフの試乗体験」を開催しました。また、多くの市民にリサイクルや省エネルギーを普及する目的から、『秋を家族で楽しむエコフェスタ!』を同時開催し、「秋のリサイクル大運動会」、「冬の省エネ講習会」、「エコドライブ体験教室」など、楽しく参加できるコーナーを設け、合計で1,750人の参加がありました。

2. 本事業の構成団体

本事業では、中学校や高校、高専、大学などの教職員有志で『エコマラソン長野実行委員会』を組織し、事務局などの運営支援としてNPOなどが加わって主催団体を構成しています。また、行政機関、各種団体をはじめ多くの後援、協力をいただき、本事業を実施することができました。

3. 開催日時

大会は、平成23年9月18日(日曜日)に開催しました。この時期は、栃木県のツインリンク

茂木で10月に行われる全国大会に向けた予行演習としても適した時期です。

主催

エコマラソン長野実行委員会
NPO法人CO2バンク推進機構
実行委員会

- ・実行委員長 箕田大輔
(信州大学教育学部附属長野中学校 技術・家庭科主任)
- ・競技委員長 岡田 学
(国立長野工業高等専門学校 機械工学科 准教授)
- ・実行委員
鈴木英介(長野県長野工業高等学校) 山口秀樹・倉田英明(東京都市大学塩尻高等学校) 川井裕(長野市立篠ノ井西中学校) 野沢重徳(信州大学付属松本中学校) 松岡保正(国立長野工業高等専門学校 環境都市工学科教授)
- ・事務局 宮入賢一郎(NPO法人CO2バンク推進機構理事長、国立長野高専・長野県林業大学校講師)

後援

国土交通省長野国道事務所/長野県/長野県教育委員会/長野市/長野市教育委員会/信州大学/豊橋技術科学大学/国立長野高専/NHK長野放送局/SBC信越放送/NBS長野放送/TBS長野信州/abn長野朝日放送/INC長野ケーブルテレビ/信濃毎日新聞社/朝日新聞長野総局/読売新聞長野支局/中日新聞社/毎日新聞長野支局/産経新聞長野支局/日本経済新聞社長野支局/長野市民新聞社/新建新聞社/週刊長野新聞社/市民タイムス

協力

長野市リフレッシュプラザ/一般社団法人日本自動車連盟長野支部/(株)ドリームモータースクール/(財)ながの観光コンベンションビューロー/長野三菱自動車販売(株)/ふきっ子のお八起/長野養護学校/リサイクルショップ「チャリネット」/自然エネルギー工作教室 ecolabo/Creative EYES/長野県NPOセンター/長野技能五輪・アビリンピック2012推進協議会事務局

競技スタッフ:長野高専チーム

運営協力者・スタッフ

高羽のみ子, 寺澤順子, 郷原利枝, 廣田のり子, 黒田和代(保健師), 藤田芳信, 原田幸長, 丸山工子, 川端里子, 北澤節子, 滝澤敦子, 滝澤和夫, 柿崎久, 笹尾彰治, 亀山寛

4. 開催場所・コース

開催場所は、エムウェーブ(長野市オリンピック記念アリーナ)の敷地内を周回するコースで、当日実測距離1046.5kmです。



5. プログラム実施状況

5.1 タイムスケジュール

前日の9月17日(土)は午後1時からテント設営、コース作りなどの準備を開始しました。また参加可能な出場者は、コース確認や予備車検、試験走行を行いました。

平成23年9月17日(土)
13:00~ 設営関係者集合、設営開始
13:30~ 希望チーム(コース確認、予備車検)

大会当日18日は晴天となり、計測会には絶好のコンディション。早朝6時から準備、8時に開会式を開催し、その直後のドライバーズミーティングとともに参加者全員が安全に大会を運営することを申し合わせました。

9月18日(日)
6:00 関係者集合
7:00 スタッフミーティング
7:15 受付開始
7:20~8:20 車検&コースウォーク
8:00 開会式
8:20 ドライバーズミーティング
8:30~11:00 第1回燃費計測会
11:10 記念写真撮影、交流会
12:00~13:00 市販車クラス大会
12:45~13:15 二人乗りエコカー体験
13:30~16:00 第2回燃費計測会
16:45 閉会式・表彰式

秋を家族で楽しむエコフェスタ
10:00~15:00

秋のリサイクル大運動会、冬の省エネ講習会、エコドライブ体験教室、未来型・電気自動車体験(ソーラーカー体験、電気自動車アイミーブ、リーフ乗車体験)、お楽しみコーナー(ヨーヨーつり、輪投げ、リサイクル子供服のチャリティ販売「チャリネット」、フリーマーケット、おやき・ポップコーン・野菜・かき氷などの販売)

5.2 エコマラソン(自作エコカー部門)

自作エコカー部門は1046.5mのコースを10周走り、その時に消費した燃料(ハイオクガソリン)から燃費を算出する方式で燃費を競いました。10週の制限時間を30分以内とし、平均約20km/h以上のペースで走行する規定を設けています。午前・午後合わせて2回の計測時間内に3回の出走を行うことができ、各チームが調整を繰り返しながら参加しました。

ながら参加しました。

エントリー18チームの中で最優秀チームは、燃費 662.724km/ (前回記録 778.17、前々回 1029.858) という好成績でした。

5.3 エコマラソン(市販車部門)

市販車(市販2輪車)によるエコドライブ燃費競技も行いました。エントリーした6チームのうち最優秀チームは 249.900km/ (前回記録 223.46、前々回 128.015) という好成績でした。

5.4 閉会式・表彰式

閉会式・表彰式では計測会の結果を報告し、燃費最優秀賞、優秀賞、努力賞の3賞と、技能賞(わざまる賞)を表彰しました。全ての賞に長野市長からの表彰状、長野技能五輪・アビリンピック2012推進協議会事務局から副賞として「わざまる」(長野技能五輪・アビリンピック2012マスコット)キャラクターを贈呈しました。また、全参加者に参加賞として「わざまる」のクリアホルダーを贈呈しました。

9月18日(日) エムウェーブ

時間	コース・メイン会場	アトラクション会場	会議室
6:00	関係者集合(エムウェーブ)		
7:00	スタッフミーティング		
7:15	受付開始		
7:20~8:20	車検&コースウォーク		
8:00~8:15	開会式 ○開会宣言-競技委員長 ○あいさつ-実行委員長		
8:20~8:25	ドライバーズミーティング -実行委員長、競技委員長		
8:25~8:30	コース閉鎖 → 安全確認		
8:30	第1回燃費計測会 ※10:30受付終了 ※11:00終了	お楽しみコーナー 10:00~13:00 ヨーヨーつり、輪投げなど 無料配布 ※リーフ、アイミーブ展示、試乗体験	エコドライブ体験 10:00~13:00 ■省エネ講習会 10:30~11:00
11:00		運動会1回戦 10:00~	
11:10~11:20	記念写真、交流会	運動会2回戦 10:40~	
12:00~13:00	市販車クラス大会		■省エネ講習会 11:30~12:00
12:45~13:15	エコカー乗車体験(P2)		■省エネ講習会 13:00~13:30
13:25~13:30	コース閉鎖 → 安全確認		
13:30	第2回燃費計測会 ※15:30受付終了 ※16:00終了	運動会3回戦 13:00~	■省エネ講習会 14:00~14:30
16:00			
16:00~16:45	表彰式設営準備 -各チーム片付け		
16:45~17:00	閉会式・表彰式 ○表彰-競技委員長 ○講師と開会宣言-実行委員長		
17:00~18:00	会場片付け、最終点検		

■燃費計測
8:30~11:00(150分)、13:30~16:00(210分)の計360分間のうち完全3回分を有効とする。
■エムウェーブ周回コース 1046.5m:2011/09/18実測値
・自作エコカー部門 10周(30分以内)
・市販車部門 5周(15分以内)

6. 参加状況

今回は24チーム(12団体)のエントリーがありました。市内のみならず県内や県外の学校、卒業生・社会人参加などの幅広い参加があり、大会を通じての交流が生まれました。また、新たな参加者も見られ、大会が広がってきました。

大会前に見学者向けのチラシを作成し、「ながの環境フェア」などのイベントでの配布と、長野市教育委員会などのご協力により市内小学校・中学生の全児童・生徒に開催案内を配布しました。また、地方紙への広告掲載により、広く市民へとイベント内容を告知しました。こうした広報活動が効果的でした。

これまでの参加状況

- 第1回(2007)参加者数: 350人
参加チーム: 12チーム
- 第2回(2008)参加者数: 464人
参加チーム: 22チーム
- 第3回(2009)参加者数: 480人
参加チーム: 30チーム
- 第4回(2010)参加者数: 3,000人
参加チーム: 30チーム
- 第5回(2011)参加者数: 1,750人
参加チーム: 24チーム

大勢の皆様に参加していただき、また運営をサポートしていただきましたことに感謝します。



ソーラーカー体験



秋のリサイクル大運動会



エコドライブ体験教室



冬の省エネ講習会



アトラクションコーナー



電気自動車
試乗体験



エコカー部門		
順位	チーム名	km/リットル
1	信州大学附属長野中学校 Discovery	153.166
2	信州大学附属長野中学校 Accelerators	—
3	信州大学附属長野中学校 Errant	141.404
4	信州大学附属長野中学校 Air Force	—
5	篠ノ井西中 Evolution	178.077
6	篠ノ井西中 Creation▽	—
7	篠ノ井西中 SPIRIT	154.622
8	篠ノ井西中 Challenger	178.606
9	東京都立大学塩尻高校 原動機部A	270.884
10	東京都立大学塩尻高校 原動機部B	662.724
11	岡谷工業高校 自動車部	—
12	長野高等 Eroica	124.631
13	長野高等 Gearful ver.Ⅱ	132.883
14	信大附属松本中 チーム☆'s	—
15	信大附属松本中 チームα	111.098
16	信州大学教育学部A	74.224
17	信州大学教育学部B	—
18	都市大付属中高	120.812

市販車部門		
順位	チーム名	km/リットル
51	長野工業チーム スカークレット	—
52	長野工業チーム ベイル	108.701
53	Little Cubs	221.158
54	Team-Rising 市販車部	249.900
55	中央農業グリーン専門学校-群馬	85.433
56	first Creation	86.878

入賞

10	東京都立大学塩尻高校 原動機部B	燃費最優秀賞
5	篠ノ井西中 Evolution	優秀賞
15	信大附属松本中 チームα	努力賞
54	Team-Rising 市販車部	技能賞 (わざまる賞)

公式測定: エムウエーブ周囲コース 1周1046.5m

自作エコカー部門: 10周(30分以内完走)

市販車部門: 6周(15分以内完走)

表彰チーム



燃費最優秀賞
ゼッケン10
東京都立大学塩尻高校 原動機部B
記録: 662.724km/



優秀賞
ゼッケン5
篠ノ井西中 Evolution
記録: 178.077km/



努力賞
ゼッケン15
信大附属松本中 チーム
記録: 111.098km/



技能賞(わざまる賞)
ゼッケン54
Team-Rising 市販車部
記録: 249.900km/

